

創立50周年記念

奈良文化財研究所学報第63冊

山田寺発掘調査報告

図 版 編

凡 例

- 1 遺構は図面をPl. (plan, plate) 番号、写真をPh. (photo-graph) 番号で示した。遺物は写真をPh. 番号で示し、図面を基本として対向させた。
- 2 1/200の遺構図面 (Pl. 2～16) の割付図は、Pl. 1に示した。
- 3 遺構図面には国土方眼座標第Ⅳ系にもとづく座標値を示した。
- 4 遺構には一連の番号をつけ、その前にSA：築地・塀、SB：建物、SC：廊、SD：溝、SF：道路、SK：土坑、SS：足場穴、SX：その他などの分類表記を付記した。
- 5 瓦塼類の写真 (Ph. 82～213) は、軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、各種道具瓦などの順で、種類ごとに製作技法や範傷の進行状況を示す資料を細部写真として挿入した。
- 6 木製品及び建築部材の実測図の断面にしめす線は、木材の年輪を模式的にあらわしている。